

# 矢巾町活動交流センター やはぱーく 開館10周年



## 交流・教養・子育てをつなぐ“町の顔”

矢巾町活動交流センター「やはぱーく」は今年、開館10周年を迎えました。6月20日は町と指定管理者の矢幅駅前開発(株)などの関係者が出席した記念セレモニーを開催。世代を超える出会いを積み重ねてきた同センターは、平成28年の開館からこれまでに約152万人が利用しており、駅前の「町の顔」としてさらなる活性化へ、次の10年に向けて新たな一歩を踏み出します。



高橋昌造町長

「この10年間で約152万人が利用し、やはぱーくは町内外の皆さんの活動と交流を支えてきました。今後は矢幅駅や周辺施設とも連携し、みんなで知恵を出し合いながら『町の顔』として育てていきたいと思えます」



矢幅駅前開発(株) 工藤卓哉代表取締役

「開館以来、世代や立場を超えて人々が出会い、学び、つながる場所として歩んできました。その積み重ねが地域の活力につながっています。10周年を新たな出発点として次の10年、その先も地域に愛される施設を目指します」



廣田清実町議会議長

「やはぱーくは情報発信、学び、子育て支援の機能を備えた、人々の交流拠点。世代を超えた交流や新たな文化を生み出してきました。矢幅駅を降りて目にする『矢巾に帰ってきた』と感ぜられる町の顔です」

## 毎年の恒例イベント にじいろモール



### 写真説明

- 1 サトシンさんによるショー
- 2 めいぐるみを使った「おいしゃさんたいけん」
- 3 南昌みらい高校音楽部による演奏
- 4 白バイ乗車体験
- 5 アクアリウム上手にできたよ!
- 6 田園室内合奏団、同音楽部による演奏
- 7 調剤、上手くできるかな?
- 8 インクアートに挑戦!

やはぱーくの恒例イベント「にじいろモール」が6月20日、21日の2日間行われました。10周年の記念行事となった今回は、絵本作家サトシンさんによる「絵本をよみまショー」をはじめ、岩手医科大学附属病院の看護師や薬剤師による医療・薬学に関する体験ブース、工作コーナーなどが目白押し。町内外から訪れた多くの家族連れでにぎわいました。

やはぱーくでは、今後もさまざまな行事を開催していきます。施設情報は広報やはぱ毎号後半に掲載している「やはぱーく」コーナーをご覧ください。